

町の防災力向上を目指して

3月8日、オクス広場で防災指導員委嘱状交付式が行われました。防災指導員とは、町の防災力向上に向け、地域のリーダーとなる防災士のことで、今回は18人が委嘱されました。指導員の皆さんは、各地区の自主防災組織の立ち上げや活動の強化、住民の意識啓発などを行う予定です。辞令交付式のあとは、菊池広域連合南消防署の指導のもと、町消防団員約200人と防災指導員による規律訓練・機械操作訓練が行われました。



防災指導員委嘱状交付式・消防団規律訓練



今後の防災指導員と消防団員の活躍が期待されます

ほりだしハウス、全国表彰で優秀賞受賞

3月4日、東京都で平成26年度農山漁村女性・シニア活動表彰式が開催されました。これは、農林水産業の活性化に優れた活動の実績を持ち、男女共同参画や高齢者の活動推進のため、積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者を表彰するものです。大津町からはほりだしハウスが女性起業・経営参画部門で県代表として推薦され、優秀賞を受賞しました。ほりだしハウスは、女性のみで構成されており、町特産のからいもや旬の地元野菜などを活用した起業活動や農業経営への積極的な参画が認められての受賞となりました。

平成26年度農山漁村女性・シニア活動表彰式



(左写真)ほりだしハウスの皆さん、(右写真)表彰式に参加した安武達美さん、砂野光代さん、小林秀子さん

立派な自衛官を目指して新たに旅立ちます

平成26年度自衛隊入隊者激励会

3月8日、毎年恒例となっている菊池地区(2市2町)の激励会が合志市ヴィーブルで開催され、自衛隊に入隊する皆さんを盛大に激励しました。大津町からの入隊者は8人です。激励会では、昨年入隊した先輩である東優佑一等陸士と佐藤真奈美一等空士が、本年度入隊者に対して「仲間同士助け合うことで乗り越えられる」と激励の言葉を贈りました。



菊池地区自衛隊入隊者激励会



↑新入隊者の皆さん、立派な自衛官を目指して頑張ってください
←昨年自衛隊に入隊した東一等陸士と佐藤一等空士

自衛官募集

自衛官を目指す人はもちろん、少しでも興味をお持ちの方は、気軽にお問い合わせください。自衛隊熊本地方協力本部 菊池分駐所 ☎0968(24)2772

募集種目	受付期間	試験日	受験資格
幹部候補生一般	5月1日まで	1次：5月16日・17日(17日は飛行要員のみ) 2次：6月16日～19日 ※海・空飛行要員のみ 3次：(海)7月13日～17日 (空)7月18日～8月6日	20歳以上26歳未満の人 《22歳未満の人は大卒(見込含)、 修士課程修了者など(見込含)は28歳未満》
幹部候補生 歯科・薬剤	5月1日まで	1次：5月16日 2次：6月16日～19日	専門の大卒(見込含)、20歳以上30歳未満の人 《薬剤は20歳以上28歳未満の人》
医科・歯科 幹部	①4月24日まで ②10月1日～31日	①5月15日 ②11月27日	医師・歯科医師の免許取得者
技術幹部 (海上・航空)	4月24日～5月15日	6月29日	(海)大卒38歳未満の人 (空)大卒45歳未満の人
技術 海空曹 免許の部	4月24日～5月15日	6月26日	20歳以上の人で国家免許資格取得者など

スピードを落としてゆっくり走ろう「ゆるや傘」

KDS(熊本ドライビングスクール)が傘を寄贈

3月3日、KDSからこの春町内の小学校に入学する新1年生に「KDSゆるや傘キッズバージョン」が贈られました。これは、ゆるや傘をさす子どもたちを見たドライバーに、雨天時の路面や視界の悪さを再認識してもらい、「思いやりのある運転」を心がけてもらうことを目的に作られたものです。



写真左から齊藤教育長、KDS代表取締役の永田佳子さん、家入町長。贈られた傘は、各小学校の入学式で配布する予定です

社会的問題の解決に取り組むNPOを支援

東京エレクトロンNPO等支援事業助成金贈呈式

3月9日、2014年度東京エレクトロン九州NPO等支援事業助成金贈呈式が東京エレクトロン九州(株)合志事業所で行われました。これは、地域の社会的問題の解決に積極的に取り組むNPOなどを支援するもので、町からは「NPO法人 障がい者支援の会すまいる」と「認定NPO法人 はっぴい・はっぴい」が助成金を贈呈されています。



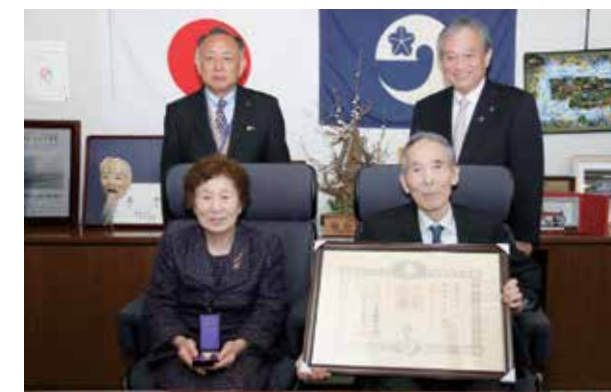
「認定NPO法人 はっぴい・はっぴい」の江藤南美江理事長と「NPO法人 障がい者支援の会すまいる」の伊藤智佳子代表理事

旭日単光章(地方自治功労)を受章

町議会議員として地方自治の振興に貢献

このたび、大塚明さん(室東)が、高齢者叙勲として「旭日単光章」を受章しました。大塚さんは町議会議員を昭和48年から12年間勤められ、今回の受章はその長年の功績が認められたものです。

伝達式では勲章と勲記が授与され、家入町長が町への貢献に対しお礼の言葉を述べました。



写真前列右から大塚明さん、大塚さんの妻の正子さん、後列右から家入町長、徳永副町長

中学生が冬期湛水事業を視察

(公財)くまもと地下水財団:冬期湛水事業

2月18日、真木地区で取り組んでいる冬期湛水事業を北九州市の中学生が視察しました。視察では、大津町を含む熊本地域の地下水の成り立ちをDVDで学び、農家さんから取り組みに関する説明を受けました。参加した中学生は、真木地区の湧き水や冬期湛水田を見学することで、生活における水の大切さを再認識できました。



平成26年度の冬期湛水事業は、2月末日で一区切りを迎えました。地下水保全にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました